令和6年度

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

渡良瀬幹線道路（新里笠懸工区）バイパス整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

・平常時だけでなく、災害時にも安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
・災害時にも円滑に移動できるよう太田藪塚ＩＣへのアクセス性を高めてほしい。（地元住民）

事業前

◆ 現道は、赤城駅の踏切前後等を中心に渋滞が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。

事業前の状況

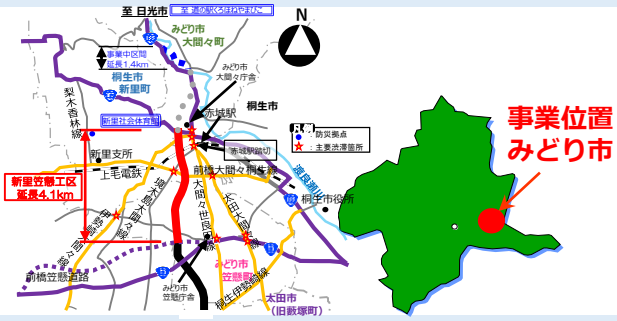
事業後

◆ バイパス整備により、現道の交通をバイパスに転換することで渋滞が解消され、災害時にも機能する安全な通行空間が確保されます。

事業後のイメージ（一例）

事業の概要

■ 事業箇所：みどり市大間々町桐原～笠懸町鹿
■ 事業内容：バイパス整備 延長4.1km
■ 事業期間：令和４年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き測量・設計を行います。

事業のすすみ具合

事業開始 ●□……● 事業完了